

研究協力をお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

記

研究課題名：顔面神経麻痺患者における臨床統計

研究の意義：顔面神経麻痺の各症例により発症形態や治癒過程などがさまざまであるため、観察研究を行うことにより疾患における経過の予測が可能となります。

研究の目的：疾患ごとの経過を評価することです。

研究の方法：カルテを用い後ろ向き研究を行い、情報収集をしたうえで統計学的な検討を行います。

研究の対象：2005年1月以降に本院を受診した顔面神経麻痺患者さんとなります。

研究期間：2016年12月1日～2027年7月31日

既存情報の利用目的等：原因疾患、顔面神経麻痺スコア、電気生理学的検査、顔面神経に対する諸検査（純音聴力検査・アブミ骨筋反射など）、画像結果などを使用いたします。

※ ご自身の情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（代諾者からの申し出も受付いたします）。なお、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

※ 対象者の方（代諾者）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、当該臨床研究計画及び当該臨床研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：患者さんの個人情報と研究用の番号を結びつける対応表を作成したのち、研究用の番号を用いて個人情報がわからない状態で統計を行います。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：対応者：萩森伸一 連絡先：内線番号 56312

利益相反について：本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保、または確保していることを社会に適切に説明するため、本学では、利益相反に対する基本的な考え方を「大阪医科薬科大学 利益相反ポリシー」として定め、研究の実施やその情報の普及・提供が適正になされているかどうかを客観的に判断し評価する仕組みとして研究に係る利益相反マネジメントを導入しております。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：

研究責任者：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 萩森 伸一

研究分担者：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 綾仁 悠介

リハビリテーション医学 仲野 春樹

中央検査部 岡崎 愛志

中央検査部 中澤 歩美

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学病院

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 萩森 伸一

TEL 072-683-1221(代表) 内線 56312

(令和7年5月26日 第4版)